

これまで以上に「ありがとう」が
聞こえるまち、住之江区の実現に向けて

令和5年度運営方針



子どもたちが輝くまちづくり

子どもたちが笑顔で育つ環境の実現

■支援が必要な児童、生徒への取組

- こどもサポートネット事業(1,666万円)
小・中学校等と連携し、支援の必要な児童・生徒や保護者の悩みを傾聴のうえ、利用可能な支援を提案し、児童・生徒や保護者のニーズに合わせて利用に向けたサポートを行います。



■全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

- 2歳児子育てケアプラン作成事業(☑1,032万円)
2歳の子どもがいるご家庭に子育てアンケートとあわせて、利用できるサービス・情報をお送りします。相談を希望される方には、ご家庭へ訪問します。



■相談機能、情報発信の強化と交流の場の充実

- 地域担当保健師や子育て支援室の相談員による相談
- 子ども・子育てプラザをはじめとした親子が交流する場の提供
- 子育てマップや子育て情報紙「わいわい」の発行(☑26万円)

子どもたちの「生き抜く力」の育成

■児童、生徒の学力向上に向けた取組

- 中学生の英検受験支援(☑308万円)
- 大阪市習い事・塾代助成事業を活用した民間の塾事業者との連携による課外授業の実施(☑43万円)
- 放課後学習チャレンジ教室事業(☑567万円)
こどもサポートネット事業の対象となる児童などに、学習習慣の定着や学習意欲の向上を図ります。

■チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

- すみのえ未来塾事業(365万円)
チャレンジ精神や探求心、判断力やコミュニケーション力等の未来に向かって挑戦する力を育むためのワークショップ等を通して、子どもたちがこれからの社会を「生き抜く力」を身につける機会を創出します。



※☑は区の予算です。そのほか、各局や教育委員会においても予算措置がされています。



すべての人が自分らしく暮らせるまちづくり

地域の活力と魅力の向上

■多様な主体による地域の活気と魅力づくり

- 地域活動支援事業(☑5,942万円)
地域活動協議会をはじめとした、様々な団体や企業、NPO、個人が中心となって地域の課題解決ができるように、まちづくりセンターを通して地域活動をサポートするなど、地域コミュニティの活性化を図ります。



■地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

- まちづくりセンターと連携し、地域の実情に応じて、地域活動協議会の自律運営に向けた支援
- 地域活動協議会の意義や求められる役割について理解を深めるための積極的な情報発信

■地域の魅力の共有と発信

- すみのえ情報局の運用(☑459万円)
区内外の方に住之江区を知ってもらうことを目的として、ポータルサイト「すみのえ情報局」を運営し活用して、区内の関連団体等の情報発信を支援します。
また、ポータルサイトの閲覧・活用を促進するため、スマホの使い方を習得するための支援を行います。



支え見守りあう地域づくり

■安心を提供する福祉施策の推進

- 福祉・健康・医療・暮らしの支援などの各種公的制度のほか、地域・NPO等が実施する支援の情報共有による相談対応力の向上

■地域福祉の充実

- 見守りあったかネット事業(☑1,249万円)
各地域や企業、学校等において、高齢者、障がい者、児童などに対する地域の見守り活動の担い手である「見守りあったかネットサポーター」を養成します。
- ふだんのくらししあわせプラン(地域福祉計画)の作成
各地域の実態を踏まえた「ふだんのくらししあわせプラン」を地域活動協議会等と連携して作成し、地域福祉の取組への参画を促進するための啓発を行います。



住之江区ではSDGsの理念に賛同し、区民のみなさまとSDGsの達成をめざします。



SDGsと私たち

SDGsとは、2015年の国連サミットで採択された2030年までに達成するために掲げた、17のゴール・169のターゲットから構成された国際目標です。
SDGs達成のためには、私たち一人ひとりが「じぶんごと」として考え、行動することが大切！
区民のみなさまにとってのSDGsが、住之江区のめざすSDGsです。ぜひ、簡単なことから始めてみてください。

